

2021年(令和3年)

第12号

(8月1日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会

発行責任者：渉外部長 田中規之

編集委員長：渉外広報 植田恭司

〒605-0041 京都市東山区三条東町 230

TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

今月のことば ～心の隙間を埋める～ 宇治支部主任 堀口典成

宇治支部の堀口です。佼成8月号今月の言葉のお役を頂き、誠にありがとうございます。実は今月は私の母の一周忌に当たる月です。少しでも徳を積ませて頂けること、感謝の気持ちでいっぱいです。どうぞよろしくお願い致します。

忘れもしません、昨年11月15日、妻が自宅で倒れ入院しました。くも膜下出血でした。おかげさまで後遺症も全くなく、以前と何一つ変わらない状態で一ヶ月ちょっとで退院することができました。奇跡的な大ご守護を頂きました。

妻の入院中、不安と恐怖の中、救いを求めて開祖さまの「我汝を軽しめず」を熟読しました。その中で、～よくない現象が起きたとき、それを「心のもち方や行いに誤りはないか、よく反省してみなさい」という仏さまのお諭しと受けとれば～「これも仏さまのお慈悲のあらわれに違いない」と受けとって～という開祖さまのお言葉に出会うことができました。心がとても軽くなり、ようやく前向きになることができました。

この開祖さまのお言葉を胸に毎日祈願を込めて三部経を読誦していると、「仏さまを信じきれていない自分」「上から目線で人を裁いている自分」を発見することができました。今から考えるとあのような逆境がなければ到底発見できない自分です。

会長先生は今月のご法話の中で、「どれほど強い意志をもった人も、鬼や魔にたとえられる貪瞋痴の誘惑にはなかなか勝てません」とおっしゃっております。私も妻の入院を通して得た気づきから、「素直に仏さまを信じる」「人さまに教えて頂く」を新たにテーマに設定し、実践を心がけました。しかしながら時間が経つにつれ、喉元過ぎれば、ではないですが、当初は感謝の

気持ちで実践していたものが、次第に実践しようとしても不平不満の気持ちの方が強くなってきてしまいました。

職場などでお叱りを受ければ「教えて頂く」という姿勢ではなく、その人に対しての愚痴や批判になってしまいます。何か不都合な事や嫌な事があると、その事を「素直に仏さまを信じて」仏さまのお手配と受けとることがなかなかできません。あんなに大ご守護を頂いたのに「なぜ変わらないのだろう?」「なぜ実践できないのだろう?」と自分自身が情けなくなるときがあります。

会長先生はご法話の中で「菩薩の道を歩もうと誓いながらも、迷ったり悩んだりすることの多い私たち」と教えてくださっています。まずは常精進の難しいことを自覚し、あきらめずに取り組むことの大切さを教えて頂きました。

また、「心に隙が生じそうなときに自己を省みる「陀羅尼」というスイッチがあれば、魔が動き出す前に隙間を埋めて、心を切り替えることができます」とも教えて頂いています。愚痴や怒りの心が起こったときには、「悪をとどめ、善をすすめる力」のある言葉「陀羅尼」を唱えることで、心が切り替わることを教えて頂きました。

最後に会長先生は、自分にとっての「陀羅尼」とは一それを考え、会得するのもまた、心の隙間を埋める助けになるはずと。とおっしゃっています。私にとっての「陀羅尼」一それはやはり「素直に仏さまを信じる」「人さまに教えて頂く」です。失敗しても失敗しても、私の「陀羅尼」を常に心の中で何回も唱え、常精進させて頂くことをお誓いいたします。

あなたのお仕事を教えて下さい ～宇治支部 西田浩基さん～

Q：仕事先はどちらですか。

A：西田ウェストサービス

Q：どのような仕事内容ですか。

A：家庭用、業務用の空調設備の販売施工。飲食店の冷凍冷蔵庫や製氷機等の厨房設備の販売設置。食品工場のプレハブ式冷凍冷蔵倉庫の販売施工。その他付随するメンテナンスです。

平成20年に父親経営の会社から独立し、自営で設備の販売施工を始めました。

Q：仕事に心掛けていることがあれば教えて下さい。

A：今は私の妻の介護が日常生活の中心になっているので、時間や日数のかかる仕事は出来ない状況ですが、取引頂いているお客さまは父親の会社にした頃からの長いお付き合いが多く30年以上のところも数件あります。ほとんどの設備は客先にとって仕事に直結する無くてはならないものです。設置からメンテナンスに至るまでお客さまの仕事に極力支障が出ないように、施工の際は綿密かつ慎重に。メンテナンスは出来る限り迅速に対応することを心がけております。

令和3年、私たちは「どこでも道場 祈り祈られ 笑顔と涙によりそおう」を実践して参ります。

京都教会のホームページが出来ました。https://rkk-kyoto.jp/